

香童の校

壬生町立稲葉小学校 学校便り

平成29年6月28日

文責：校長 廣田 昌英

広報部長

本校の職員玄関に入ると、すぐに目に止まるのが「稲葉小へようこそ」という掲示物です。旬の行事が写真で紹介されています。それでは旬ではなくなった行事の紹介写真はどうなっていると思いますか？私は驚きました。職員室前の廊下に順番に貼られていくのです。そして年度末には稲葉小の1年間がすべて写真で一目瞭然になるんだそうです。壮大な作戦ですよ。これを担当しているのが学力向上支援員の今泉朱美先生です。実は本校のホームページも主に今泉先生が更新してくれてるんです。けっこう大変で根気のいる作業なんですよ。

そんな作業の中にも今泉先生は一工夫してくれてます。ホームページは子どもたちの顔がはっきりとわからないように、そしてその分、「稲葉小へようこそ」はでかかと子どもたちの生き生きとした表情がわかるように作ってるんだそうです。細かい心配りですよ。まさに本校の広報部長。来校の際は是非ともご覧ください。

具体から抽象へ

1年生がたし算の勉強をしていました。4本のお花と2本のお花、合わせると $4+2=6$ （本）という簡単なたし算なのですが、実はここで1年生の脳みそは大きな変化を遂げているのです。4本のかわいらしいお花が4個のおはじき（記号）に変化し、それがやがて「4」という数字に変化するという、大人では当たり前の考え方に劇的に近づいているのです。すごい時期なんです。保護者の皆さん、是非、お子様の教科書とノートを見てくださいね！

失礼しました！

ある日、子ども達と慌ただしく給食を食

べてランチルームを出ました。すぐ目の前は、豊かな個性でいつも我々を楽しませてくれる2年生の教室です。すると、その教室の入り口付近で2人の子どもがぞうきん掛けをしています。今日は何事かと思って行ってみました。

「どうしたの？」

「なんか濡れてたから、危ないと思って拭いてるの」

いやいやどうも、参りました。生まれてから7～8年しか経っていない2年生、やんちゃなのは当たり前だと思い込んでいたのですが、危険を予知してみんなのために行動する、こんなことができるんですね。2年生の皆さん、今まで誠にすいませんでした。これからはもう少しだけ、大人扱いさせていただきます。

先生の先生？

学力向上実践加配と称して、多くの学校に教員が1人多く配置されています。本校もその中の1校であり、1つの学級を2人以上の教員で教える、いわゆる「ティーム・ティーチング（T・T）」を実施しています。担任と中山正美先生が行うT・Tをよく参観するのですが、さすがに2人の教師の目が子どもたちによく行き届き、「これなら学力が向上するよな」と、いつも感心して見えています。子どもたちは幸せもんです。

しかし、最近気がつきました。担任の先生も幸せもんなんです。中山先生の指導のテクニックを間近で観察できるんですから。注目のさせ方、具体的にイメージできる説明、子どものつぶやきの拾い方と広げ方など、ベテラン（？）の味がにじみ出てます。ありがたいですね。今後も子ども達と教員達のご指導、よろしくお願いいたします。